

教科書：Revised Vision Quest English Expression II Ace

副教材：INSPIRE 総合英語 英熟語ターゲット1000 Best Avenue Grow Up! POWERSTAGE 英文法・語法問題 同トレーニングブック 入試必携英作文 Write to the Point, 大学入試 ランダムチェック The Reflex 643

学習目標

<本校の英語科の目標>

国際的な感覚と教養を持ち、実践的に英語を活用してコミュニケーションを図ることができる。

- (1) 聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの4技能について、偏りのない総合的な英語力を身につける。
- (2) 語彙力・文法力・構文力に基礎をおき、幅広い英文を理解しそれに対しての自分の意見を表現する。

<第6学年の目標>

- 話す、聞く、読む、書くというそれぞれの力をバランスよく身につける。
- インプットした知識や内容を、表現活動において積極的にアウトプットする。
- 語彙力、文法力、構文力に基礎をおき、幅広い文章を理解して自分の意見を表現することができる。
- STEAM教育をふまえ、多岐に渡るトピックに触れ、国際社会に通用する教養と英語力を身につける。

学習方法

- 長文読解(精読・速読)、英作文(和文英訳、自由英作文)、リテリング、スピーチ、ディベート、リスニングなど様々な言語活動を通して、4技能をバランスよく伸ばしていく。
- 自分が受けた小テスト・週末課題・定期考査・模試の振り返りこそ最高の問題集であると考え、活用する
- 既習の文法や語彙についても、「他人に説明できるまで」適宜復習・反復練習を行う。
- ネイティブスピーカーの先生と、間違いを恐れず、直接英語でコミュニケーションをとる。
- 長文読解の際には、「目的に応じた読み方」を使い分けられるよう、精読(構文解釈・和訳など)と速読(スキミング、スキニング、wpm 記録など)の両輪で学習をすすめる。
- 文法学習を軽視せず、「なぜそうなるのか」、常に根拠を追及し論理的に深く考えながら、体系的に学習する。そうしてインプットしたものを、アウトプットすることも忘れない。
- 朝学習の時間に速読等の小テストを行い、実践力を養う。

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人ひとりの活動を單元ごとに評価を行います。

観点①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。 予習・復習を行い積極的な態度で授業に参加しようとしている。
観点②表現の能力	既習の文法事項を使いまとまった長さの英作文が書ける。 自分の意見を積極的に発言している。
観点③理解の能力	英語の情報について正確に聞いたり読んだりできる。 読んだ情報をもとにして問題に正確に取り組むことができる。
観点④言語や文化に対する知識・理解	語句や文に関しての知識を身につけることができる。

評価の方法／観点	①	②	③	④
授業の活動・態度の観察	◎	○		
ワークシート、ノート提出	◎	○	○	○
定期考査・小テスト		◎	◎	◎
スピーチ・リテリング・ディベート	◎	◎	◎	

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	- 音の連結・同化等を意識し、英語らしい音声で音読する。 - 間違いを恐れず積極的に英語を使おうという姿勢を持つ。 - 学習した文法事項を用いて自己表現できる。 - 科学や医学、工学など、馴染みの薄いトピックについても、自分の意見や考えを英語で発信できる。(STEAM)	Best Avenue Grow Up! 14,15 仮定法 1,2 16 否定表現 17 名詞構文・無生物主語・強調・倒置 18 代名詞 19 形容詞・副詞・前置詞 20 接続詞■Write to the Point (和文英訳演習) Write to the Point (和文英訳演習) 1. 主語の決定(1)～9. 時間の表現	個別対応 (和文英訳・英文和訳・日本語記述問題等の添削等)
2 学 期	- 英語を使って自分の意見を発信することに慣れる。 - 学習した文法事項を用いて自己表現できる。 - 和文英訳の訓練を重ね、自由英作文への基盤を形成する。 - 科学や医学、工学など、馴染みの薄いトピックについても、自分の意見や考えを英語で発信できる。(STEAM)	The Reflex 643 (文法・語法ランダム演習) Write to the Point (和文英訳演習) 1. 主語の決定 10. 数字の表現 ～ 18. A は...だ	個別対応 (和文英訳・英文和訳・日本語記述問題等の添削等)
3 学 期	- 学習した文法や語彙を用いて自己表現できる。 「何となく」を脱却し、文法学習や問題演習の際には「なぜそうなるのか」根拠を他者に論理的に説明できる。 - 社会問題などの是非について、自分の意見を英語でまとめることができる。(STEAM) - ディスコースマーカートの役割、パラグラフの構成を理解し作文やスピーチに応用できる。	個別対応 (和文英訳・英文和訳・日本語記述問題)	個別対応 (和文英訳・英文和訳・日本語記述問題等の添削等)

学習のアドバイス

- 与えられるのを待つのではなく、自分から行動を起こす。
- 学校に通いながら勉強を進める以上、授業を中心に予習・復習を組み立てることが最も費用対効果の高い学習方法である。
- 予習＝「理解できる/できない」の仕分け 授業で明らかにすべき内容を決める時間 必ず行う。
- 授業＝上記内容を解決し、復習すべき内容を決める時間 必要な情報はメモを取る。
- 復習＝授業内容についてアウトプットで知識の定着を図る時間 目と手と口（音読）を使う。
- 「わかる」＝その仕組みや根拠を他者に説明できること 「何となく」「感覚で」等根拠の曖昧な「わかったつもり」を脱却する。
- 定期考査・模擬試験等で間違えた/わからなかった部分は自分専用の最高の問題集である。必ず解き直しをする。
- 音読を毎日行う。目だけでなく、手と口を動かす方が効果が高い。
- 質問しあえる雰囲気、教え合える仲間を作る。不明点は放置せず仲間や先生に相談・質問する。
- 大学で活用するだけでなく、生涯にわたり再度勉強する必要がある or 学びたくなるのが英語である。あなたの南多摩での努力を、未来のあなたは必ず評価するであろう。本気で取り組むべきである。